

第4回 JEITAベンチャー賞 受賞企業



アイオーコア株式会社

<http://www.aiocore.com/>



設立年月日：2017年4月17日

所在地：東京都文京区関口1-47-12-301

代表者：藤田 友之（代表取締役社長 CEO）

従業員数：12人

業種：製造分野

事業概要

光・電子変換トランシーバの開発・製造・販売

- 技術：世界最小のモジュールサイズ、世界最少レベルの省エネルギー、世界最高の高温動作特性(100℃以上)
- 低コストデータセンタ内光配線：Active Optical Cables
- サーバ等間光配線：Back Place
- コンピュータ内光配線：On-Board Optical Connection
- その他高速光通信への適用(8K、医療機器、自動車など)

審査評価

アイオーコア株式会社は、かつてない小型、高速かつ省電力のオンボード型光トランシーバ“光I/Oコア”を開発し、今年度からユーザにサンプル出荷を開始している。光I/Oコアは100Gbpsという高速かつ大容量の情報転送が可能な世界最小の5mm角モジュールであり、将来は400Gbpsまで性能向上できる拡張性を有している。光I/Oコアは、データセンター内のサーバラック間あるいはサーバボード間の情報伝送への実装されるものであり、広範囲な適用性と多様なメリットが考えられることから、今後さらに発展する情報化社会を下支えする重要な基盤集積モジュールとして期待される。よって、JEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

第4回 JEITAベンチャー賞 受賞企業



株式会社AI Samurai

<https://aisamurai.co.jp/>



設立年月日：2015年9月11日

所在地：東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル4階

代表者：白坂 一（代表取締役社長 CEO）

従業員数：9人

業種：AI・情報技術分野

事業概要

- 製品名：IP Samurai
- 機能：AI搭載型の特許判定システムであるIP Samuraiはアメリカと日本の特許データベースにアクセスし、特許出願にかかる時間や費用を軽減することで、大企業から中小企業まで幅広いクライアントの研究開発環境を改善し、知的財産創出の支援を目的として研究開発されている。

審査評価

株式会社AI Samuraiは、AI(人工知能)を搭載した特許審査シミュレーション・システムを開発、実用サービスの提供を始めた。本システムは、米国および日本の特許データベースと照合し、出願前の特許の類似文献を調査し、当該特許の登録可否を自動判定する。研究開発者にとって重荷だった特許出願時の類似文献調査の負荷を大幅に低減することにより、発明者はより創造的な研究活動に専念できる。多くの研究開発者の手助けになることが期待される。よって、JEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

第4回 JEITAベンチャー賞 受賞企業



株式会社ナノルクス

<http://www.nanolux.co.jp/>



設立年月日：2010年1月20日

所在地：茨城県つくば市千現2-1-6

代表者：祖父江 基史（代表取締役社長）

従業員数：6人

業種：社会インフラ分野/医療・健康分野/セキュリティ分野

事業概要

ナノルクスが取り組むのは、産総研で開発された「赤外線カラー暗視技術」の事業化です。カラー暗視技術は、これまでモノクロでしかとらえられなかった真っ暗闇での映像を、赤外線のみでカラー撮影を可能とする汎用映像技術です。多くの場合、「暗くて見えない」というのは自然現象としてあきらめられてしまっていますが、実は、夜間の交通事故や暗闇での犯罪など大きな社会問題を引き起こしているのです。カラー暗視技術を用いれば、真っ暗闇でも昼間のようなカラー撮影ができ、暗くて見えなくて困っている人々の役に立つことができます。

審査評価

株式会社ナノルクスは、産総研で開発された赤外線カラー暗視技術を事業展開している。従来はモノクロのみであった赤外線暗視カメラの取得画像の近赤外分光スペクトルに着目し、本来の可視光スペクトルとの相関を見出し、それを分析・学習することで、近赤外スペクトル画像をカラー映像化することを可能にしたものである。現在、監視カメラ、防犯カメラ、見守りカメラとして商品展開しており、ヘルスケア、個体認証、環境センシングなどへの応用も期待されている。よって、JEITA ベンチャー賞に相応しい企業と判断した。